



人に地域に寄り添う医療を

永原診療所 所長
上田 祐樹さん (西浅井町大浦)

撮影場所-永原診療所

地域に溶け込む医師に憧れの気持ちを抱いて、地域医療の道を志したのは高校生の時。以来十数年経過して、やっぱりこの道を選んでよかったと話す上田さん。

西浅井地域には永原診療所と塩津診療所があり、医師はそれぞれに1人ずつ。そんな小さな診療所に、診察日になると多い日でおよそ70人もの人が訪れます。そのたびに地域の人々に頼られていることに気づき、責任感とやりがいを感じているそうです。

「地域医療とは患者個人をみるだけでなく、その家族をみることで、さらにはコミュニティ全体をみるのが大切」。病気を治すことだけでなく、その地域に合った医療や寄り添いがあること

の地域医療だと考える上田さん。そのためにも、まずは地域のことを知ろうと、集落の祭りやイベントなどにも積極的に顔を出します。西浅井には社会的で気さくな人が多く、「先生、いつもありがとうございます」と気軽に声をかけてもらえるのが嬉しいのだとか。「地域の人との壁をなくして、普段からオープンに付き合うことで、その人の健康な時の姿をイメージして治療にあたる。これが一番大事なこと」という上田さんの言葉から、地域医療の奥深さが感じられます。

医師として地域と関わっていく中で、向き合うことのひとつに「看取り」があります。家族から「最期まで診ていただきありがとうございます」とお

礼の言葉をかけてもらうたびに、人を最期まで支えていく地域医療の医師は、病気を癒すことだけでなく、地域の人にとって身近な存在でなければならないと痛感するそうです。

今後、若年人口が減少してさらに高齢化が進むとみられ、今まで以上に往診や介護の必要性が増えると見込まれる西浅井。そのような地域の医療を支えていくために、上田さんは今後も自分が西浅井で医師を続け、後進の指導と医療体制の強化に取り組まなければ、と話します。

「誰もが安心して医療が受けられるまちを作るために、全力を尽くしたい」と語る上田さんの眼差しの向こうには、長浜の地域医療の進む道が続いています。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



いつもババやママ、まわりのみんなを笑わせてくれるあつくん☆これからも元気いっぱい、のびのび大きくなあれ!

寺脇
睦人ちゃん (平成25年9月生まれ) (八条町)



元気に大きくなってきてありがとう♡ババとママの宝物だよ♡これからもいろんなことに挑戦していこうね♪

三輪
響己ちゃん (平成27年10月生まれ) (宮司町)

| | | | | | |
|-------|-------------|-------------|-----------|-----------|---------------|
| まちの人口 | 平成28年9月1日現在 | 人口 120,441人 | 男 58,905人 | 女 61,536人 | 世帯数 44,970世帯 |
| | 平成28年8月中の異動 | 転入 236人 | 転出 257人 | 出生 107人 | 死亡 96人 婚姻 48件 |